

Q
19

「後付け」とはどういう意味ですか？

A

食洗機の入っていないキッチンの一部に、食洗機を設置することを「後付けビルトイン」といいます。

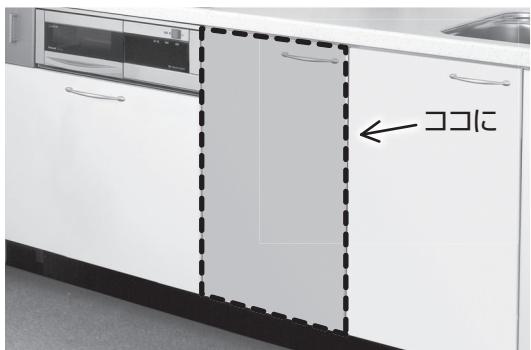
扉を外してシンク下の空間に設置する「シンク下後付け」と、独立したキャビネットを取り外し、その代わりに食洗機を設置する「カウンタ下後付け」の2つの方法があります。

Q
20

「カウンター(天板)下後付け」の設置条件は？

A

以下の条件を満たしていれば、カウンター(天板)下に食洗機がビルトインできます。



設置条件

- ①撤去可能な独立したキャビネットであること。
- ②キャビネット幅が食洗機と同一であること。
- ③公称キッチン高さ(床面からカウンタ天面まで)が80~90 cmであること。
- ④ワークトップ奥行が65 cm(または60 cm*)以上であること。

*NP-45MC6Tの場合

●詳しくはビルトイン食洗機ホームページの「買替え・後付け設置マニュアル」をご参考ください。



必要な部材

カウンター(天板)下設置用の
簡易排水管キット

N-KH1

希望小売価格 6,600円(税込)
(税抜6,000円/工事費別)



※給湯(給水)配管用部材については
現地調達となります。

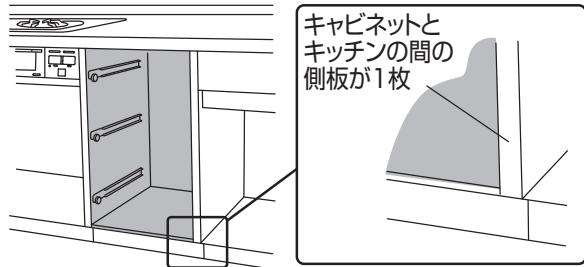
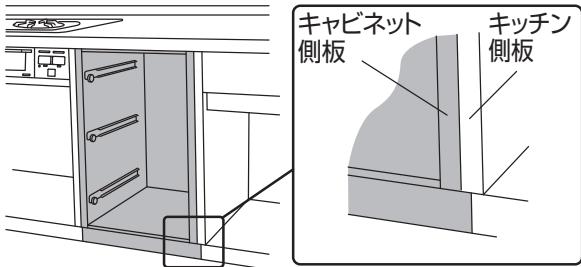
※機種により食洗機同梱の部材を併用
します。

Q
21

引き出しなどのキャビネットを撤去して、空間を確保する際の注意点は？

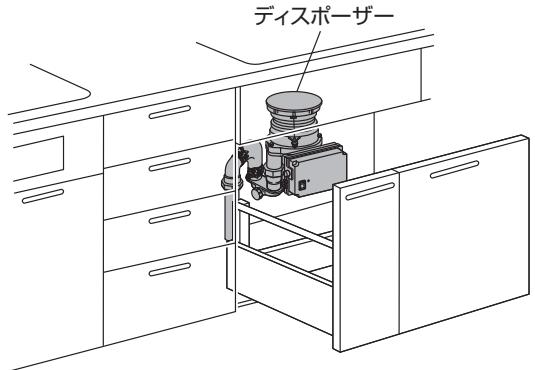
A
1

側板が、隣接するキャビネットと共に用で1枚ものの場合は、キャビネットを撤去することはできません。



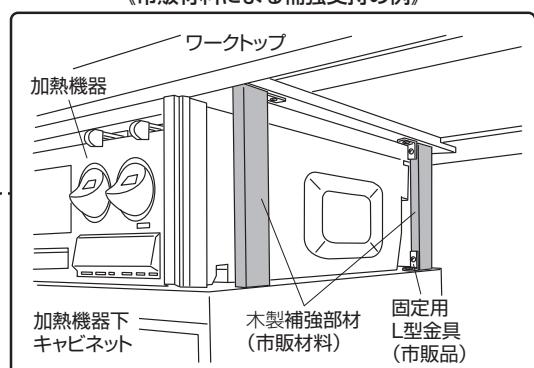
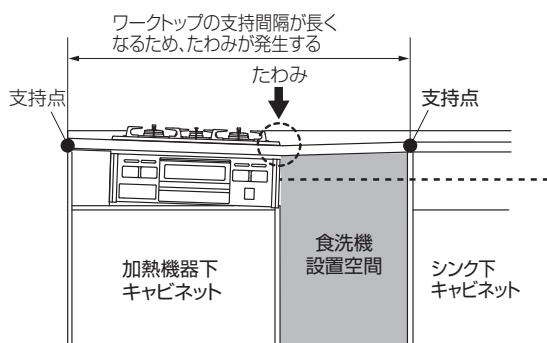
A
2

キャビネットの後方に既設配管や設備などがあり、障害となる場合は奥行空間の確保ができない。



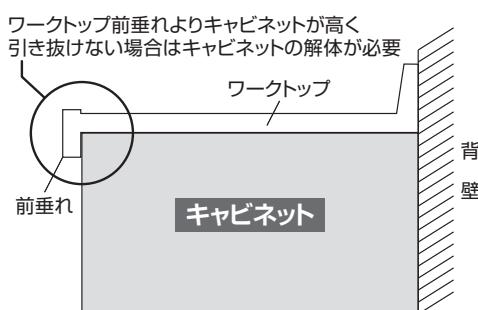
A
3

加熱機器と隣接するキャビネットを撤去する場合、必ずワークトップの支持を確保すること。支持がなくなると、ワークトップがたわんだり、破損の恐れがあるので必ず補強が必要です。



A
4

キャビネットを撤去する際、解体しなければ撤去できない場合は、必ず施工主様の承諾を得てから作業してください。

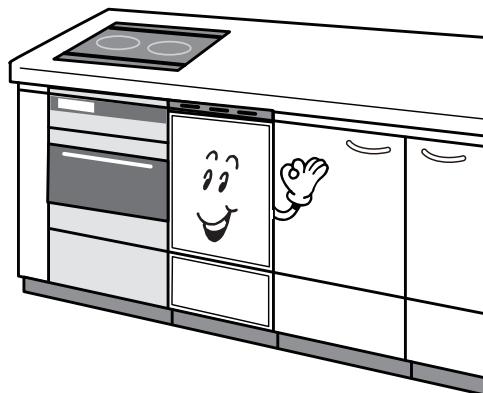


Q
22

コンロやオーブンなどの加熱機器と隣接して設置できますか？

A

ビルトインタイプのコンロやオーブンは可燃物との離隔距離は必要ありませんので、ビルトイン食洗機の隣接設置には何の問題もありません。

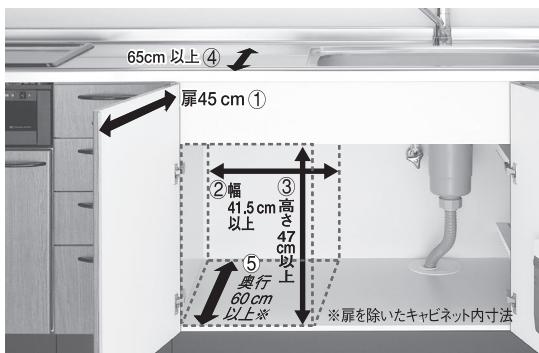


Q
23

「シンク下後付け」の設置条件は？

A

事前に配管工事をしなくても、次の条件が満たされていれば、シンク下に食器洗い乾燥機がビルトインできます。



対象機種

幅45 cm FULLオープン

●M9シリーズ [エコナビ搭載]

NP-45MS9S (操作部カラー：シルバー)

●V9シリーズ [ライトエコ搭載]

NP-45VS9S (操作部カラー：シルバー)

●R9シリーズ

NP-45RS9S (操作部カラー：シルバー)

NP-45RS9K (操作部カラー：ブラック)

設置空間
条件

① シンクキャビネットの扉幅=45 cm

② 扉の奥に幅41.5 cm以上の空間

③ 扉の奥に高さ47 cm以上の空間

④ キッチンの天板奥行が65 cm以上

⑤ 扉内の奥行が60 cm以上

●これら条件を満たさなくともビルトイン可能な場合もあります。
詳しくはビルトイン食洗機ホームページの「買替え・後付け設置マニュアル」をご参照ください。



必要な部材

シンク下設置部材キット

N-KH450S (シルバー用)

希望小売価格27,500円(税込)

(税抜25,000円／工事費別)

N-KH450K (ブラック用)

希望小売価格22,000円(税込)

(税抜20,000円／工事費別)

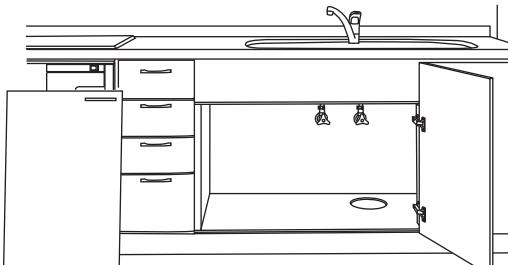


知つトク！周辺情報

■ 標準的なシンク下後付け工事の流れは

●設置条件や工事要領によって異なりますが、平均約2時間で完了できます。

1 シンク下扉・排水トラップの撤去



2 補強板の取り付け



3 転倒防止金具類の取り付け



4 電源コンセント、分岐止水栓の取り付け



5 仕切り板、戸当たりパッキンの取り付け



6 上フィラーの取り付け



7 スペーサーの取り付け



8 ホースホルダーの位置変更



9 食洗機本体の据え付け



10 排水チーズの取り付け



11 排水ホースの接続



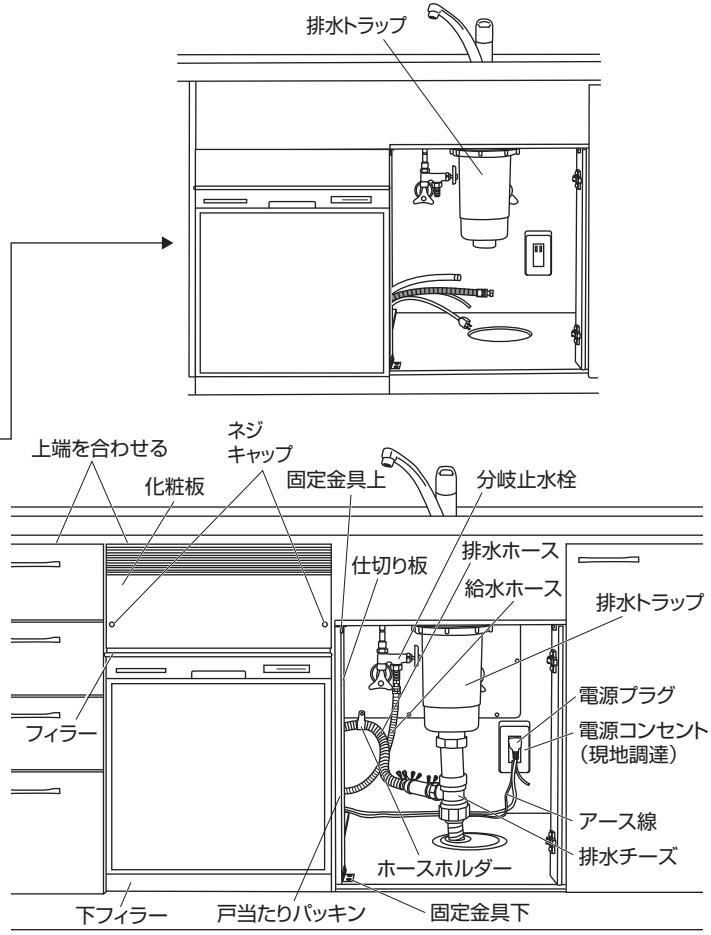
12 化粧板の取り付け



13 給水ホースの接続



14 電源・アースの接続、試運転



Q
24

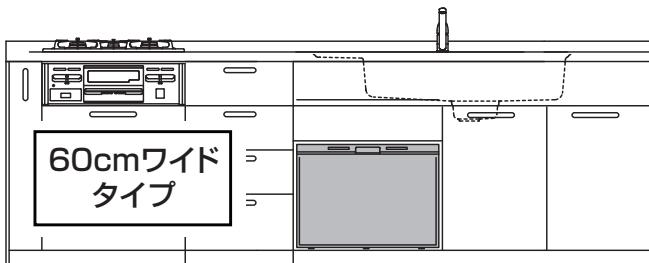
シンク下にワイドタイプは設置できますか？

A

空間や給・排水の条件さえ満たすことができれば、設置することは可能です。

但し、別売部材や市販部材の手配が必要となります。

(詳細についてはビルトイン食洗機ホームページの「買替え・後付け設置マニュアル」をご覧ください。)



給・排水ホースの延長が必要な場合

- 別売部材 N-KH1(延長用排水ホース 他)
- 市販部材 フレキ管&接続用ニップル

設置用部材

- キャビネット下地板の補強板
- 設置後の食洗機上部 化粧板の加工処理 等

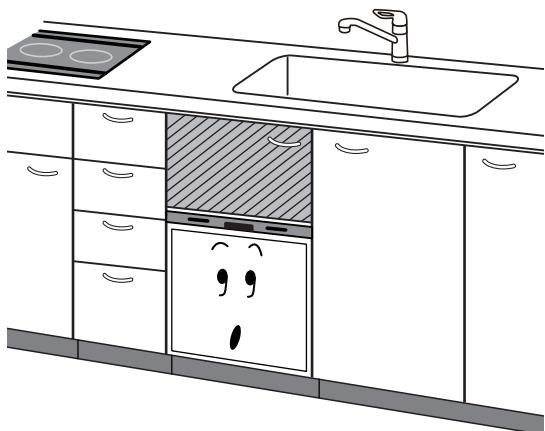
Q
25

既設のキャビネットの扉をカットする際の注意点は？

A

必ず小口の処理が必要です。

市販の木口テープを使用して、防水に配慮してください。



別売部材 N-KH450S/Kの化粧板を使用せず、既設のドア材を流用する場合は、正確に高さを計測してドア材を切断し、切断面を木口テープで処理してください。

●特殊な形状や素材の扉は、カットできない場合があります。必ず事前にご確認ください。

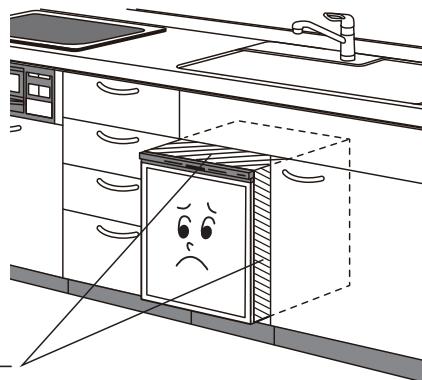
Q
26

設置空間の奥行寸法不足の場合、手前にはみ出して設置してもいいの？

A

おすすめできません。

- ビルトイン食洗機の側面や天面は、露出を想定した仕上げ加工は施していません。亜鉛メッキの金属ボディーがむき出しになってしまいます。見た目にも悪く、安定した設置が保証できません。



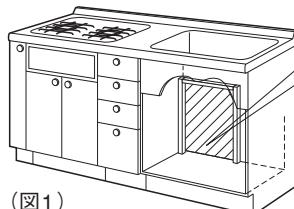
亜鉛メッキの金属ボディー

知つトク！周辺情報

- 設置空間条件が満たされていない場合でもビルトインが可能になる場合もあります。

奥行不足

- キッチン奥の背板を切り取って配管スペースを活用。(図1)
- キッチン奥がヒナ壇付きキャビネットの場合。
必要な部分だけ切断してビルトイン。
- キッチンの手前に出して、周囲を化粧板で処置。



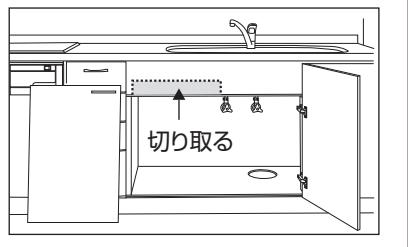
(図1)



点検口から、配管等の障害物がないか、確認してから開口してください。

高さ不足

- シンクの幕板を切断してビルトイン。(図2)



(図2)

扉幅

- 45 cm分を切りだし、残りを扉として再利用。

○いずれの場合もお客様の同意が必要です。また、事後処理等入念な施工が要求されます。

詳しくはビルトイン食洗機ホームページの「買替え・後付け設置マニュアル」をご覧ください。

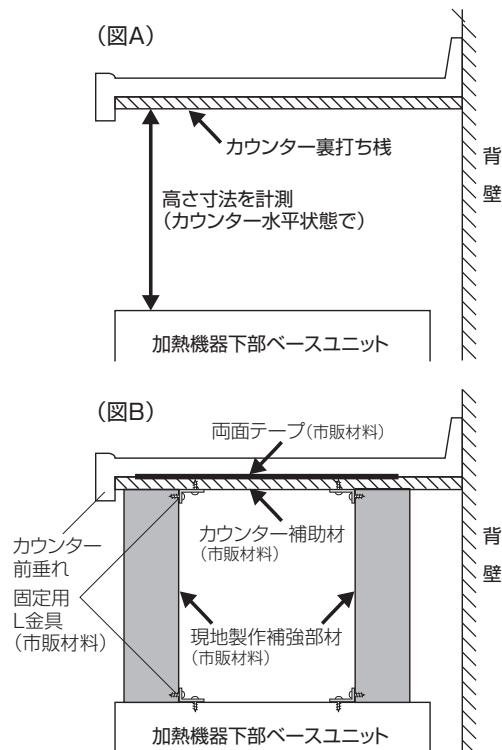
Q
27

キャビネットを引き抜いた後、カウンターを支える必要はありますか？

A

キャビネットがキッチンカウンターを支えているため、引き抜いた後、隣接の加熱機器などの荷重で、キッチンカウンターがたわむ恐れがあります。必ず以下の方法でカウンターを補強してください。

市販の部材で対応する



① 加熱機器下部のベースユニット天面から、キッチンカウンター裏面の支持部分までの高さ寸法を計測します。カウンターにたわみがあれば補正し、水平の状態で正確に計測してください。(図A)

② 市販材料(ラワン等)を加工して、支持用補強部材を2個作成します。
(幅は40 mm以上、厚みは約15 mmを目安。)

③ 作成した部材の両端にL金具を取り付け、カウンター前垂れの裏側と背壁側の2か所で、ネジで固定してください。(図B)

● カウンター裏面に裏打ち棟がない場合、図Bのように、厚さ10 mm程度のカウンター補助材を用意し、②の補助部材と固定します。

補助材の厚さを含めて①で計測した高さ寸法になるようにします。

補助材の裏面に両面テープを貼り、カウンター裏面に取り付け固定してください。



● 加熱機器の下部がオープンの場合、木製の市販材料では対応できません。

専用部材(不燃材)を使用して補強してください。